

## トークイベント

共同学習事業の取り組みの1つとして、地域における豊かな暮らしの実現に向けて、医療・福祉・建築やその連携について新たなビジョンを提示する実践者をゲストに迎え、**ゲストによるショートレクチャー**を題材に4大学の学生が意見交換を行うトークイベントを行っています。

講師の先生方のレクチャーとグループワークを通じて、**暮らしの中にケアがあること**、そのための**アプローチ、建築・空間デザインの可能性**などについて、4大学の学生が**ともに学び合う**機会として企画しました。

### 3. 2025年度“トークイベント”活動報告

タイトル：まちの居場所を訪ね・考える ～みんなの保健室 陽だまり 訪問・体験～

日時：2026年3月17日（火）13:00～15:40（予定では15:10）

会場：みんなの保健室 陽だまり（埼玉県・草加市）

講師：服部 満生子さん（一般社団法人 みんなの保健室陽だまり代表）

参加者：学生 10名 埼玉県立大学 看護学科 3年生 1名 / 2年生 1名 / 1年生 2名

日本工業大学 建築学科 3年生 6名

教員 2名 埼玉県立大学 看護学科 1名 / 日本工業大学 建築学科 1名

運営：勝木祐仁・三本松陽子（日本工業大学）

内容：みんなの保健室陽だまりは、2015年に看護師7人がつくった「みんなの保健室をつくる会」を起点として開かれた「まちの居場所」です。子どもから高齢者まで、誰もが気軽に立ち寄り、生きがいをみつけ、相談できる場所として運営されています。「**医療・教育・福祉の重なり合う拠点を、様々な枠を超え住民のチームで創る**」という陽だまりのビジョンと実践からは、**暮らしを支える連携と「まちの居場所」について多くの学びを得られると期待し、ご協力をお願いしました。**

当日は、以下の通り、代表の服部さんから陽だまりの概要説明をしていただいた後、普段の活動に参加させていただき、最後に、参加者から、感想や学びについて発表してもらいました。

1. 「みんなの保健室 陽だまり」概要説明・・・ 代表 服部 満生子さん

2. 陽だまり3月企画「いのち・生まれる ～出産の場 むかし そしていま～」参加

①お話「出産の場 / むかし そしていま」

②DVD上映：『愛されるために生まれてきた』

③お話「いまのお産 家族と迎える、この上ない幸せ」 ④語り合い

企画担当：小松美穂子先生・島田智織先生（茨城県立医療大学）

#### 当日の様子と参加者の感想

当初は、「陽だまり」において服部さんからお話を伺い、その内容を踏まえて学生間でディスカッションを行うことを計画していました。しかし、服部さんのご提案を受け、地域の方々に混ざり、普段の「陽だまり」を体験する企画としました。当日はまず「陽だまり」の概要についてご説明いただいた後、地域の方々とともに「いのち・生まれる」というテーマでお話を伺い、映画を視聴しました。学生を含め、そこに集まった**10代～80代の人たちが、それぞれの感想や経験を自然に語り、それを受け入れ合う場ができていました。**学生にとって、そこに身を置き、その場の一部になることが何より意義深かったことと想像されます。参加学生のアンケートには、「私たち学生ではわからない視点や経験を**年代関係なくお話して下さる場**がとても貴重だと感じました」「**皆さんが自分の意見をはっきりと伝え、自分らしく生活している様子**が印象的であり、「**居場所**」が人に与える**安心感や自己肯定感の大きさ**を実感した」などの感想が寄せられました。参加学生は、枠を外して自由に、自分らしく生きるための拠点としての「陽だまり」の真価に触れることができたものと思われま



「いのち・生まれる」のお話



参加学生による感想の発表



自然に語り出し語り合う参加者